

◇ 令和3年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「山田」		指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	22,991,437円	24,725,806円	コロナ禍で例年通りの活動ができなかったため、活動費に関わる収支が少なくなった。(差額については、おやつ代等で対応)	施設の運営においては、保護者との連携を大切に子ども達の自律自立を支援する。
施設HPアドレス	https://www.omi-suginoko.ed.jp		2年目	18,658,327円	20,558,002円	資格のある職員採用が難しく、紹介会社を通じて1名採用したことから手数料が生じた。コロナ禍で外部に出かける活動費はなかった。(差額については、おやつ代等で対応)	施設の運営においては、保護者との連携を大切に子ども達の自律自立を支援する。
指定管理者名	社会福祉法人淡海すぎのこ会		3年目				
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目				
評価対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		5年目				

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	平成11年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆☆
令和3年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
一人ひとりの児童が支援員の見守りのもと、集団生活の中で互いに協力したり、助け合ったりしながら健やかに成長できる環境を整える。保護者及び小学校との連携を大切にしながら、児童の成長を支援する。		概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
コロナ禍の中での活動であったので、子ども達の安心安全に繋がるように年間を通じて衛生に心掛けてきた。けれども、学級閉鎖に伴い、休みとなった児童がいた。日々の生活の中では、コロナの状況も含めて小学校と連携してきた。保護者とは、送迎時にその日の様子を伝えるなどして連携してきた。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	コロナ禍での活動も2年目となり、入所している児童数がコロナにより変動することはあまりないので、職員配置は通常どおりで支障がなかった。外部研修に行くことが難しかったが、内部研修として施設内での危機管理の見直しを行った。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。人手の少ない中、人員配置も工夫され適正に運営された。研修に積極的に参加され、資質向上に努められた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	夏休み後、例年と同じく児童数が少し減った。職員配置については、現状の人数であれば、支障がなかった。施設内から出かけることができる状態でないからこそ、施設内の管理を大切にしよう職員間の連携を心掛けた。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。研修に参加され、受講後研修参加者が研修報告書を作成し、クラブ内で情報共有に努められた。また、研修項目ごとのファイリングされており、いつでも閲覧できるように工夫されていた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	在籍人数が年度当初より、多くはなかったため、ゆったりと過ごせるようになってきた。年度始めには、のびっこ内のルールを伝え、集団生活の中でお互いに気持ち良く過ごすことを児童が意識できるように関わってきた。個人情報、鍵のかかる書棚にて管理。	上半期評価	集団生活の中で、のびっこ内でのルールの定着を図り、規則正しい生活リズムを身に着けるよう指導されていた。コロナ対策としてこまめな消毒作業も実施されていた。個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。何かあったときは支援員がすぐに答えを出すのではなく、児童同士で話し合い、主体的に解決できるよう、支援に努められた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	年度のはじめにのびっこ内のルールを伝えてお互いが安全に気持ち良く過ごせるように伝えているが、その中でも困った事があった場合は、児童に投げかけて自分達で考えることができるように支援員が仲立ちとなってきた。個人情報、鍵のかかる書棚にて管理。	下半期評価	集団生活の中で、のびっこ内でのルールの定着を図り、規則正しい生活リズムを身に着けるよう指導されていた。コロナ対策としてこまめな消毒作業も実施されていた。個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。何かあったときは支援員がすぐに答えを出すのではなく、児童同士で話し合い、主体的に解決できるよう、支援に努められた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月のおたよりの配布で、次月の行事予定やお知らせを保護者に伝えている。また、個別の相談は、保護者からの申出により適時対応。	上半期評価	毎月のおたよりや送迎時にて児童の普段の様子を伝えられた。イレギュラー等が発生した際は、送迎時に保護者に報告された。また、必要に応じて個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	毎月のおたよりの配布で、次月の行事予定やお知らせを保護者に伝えている。また、個別の相談は、保護者からの申出により適時対応。	下半期評価	毎月のおたよりや送迎時にて児童の普段の様子を伝えられた。イレギュラー等が発生した際は、送迎時に保護者に報告された。また、必要に応じて個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	点検表により、点検を行い、適時、修繕を行っている。施設の老朽化による修繕が必要と思われる箇所については、市と連携。窓ガラスが割れないよう、市で枠の修繕をいただいていた。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回様々な災害を想定し、避難訓練を実施された。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	点検表により、点検を行い、適時、修繕を行っている。施設の老朽化による修繕が必要と思われる箇所については、市と連携。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回様々な災害を想定し、避難訓練を実施された。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	